

白尻中学校が取り組んだ縄文学習について

白尻中学校が取り組んだ縄文学習について

世界文化遺産 縄文遺跡
～縄文の心を^{ひもと}く～

世界遺産登録前の活動

ふるさとキャリア教育 内容一覧

- 臼尻中学校では、近隣の小・中学校及び高等学校が連携し、主体的にふるさとの学習に取り組むことができるよう、校種間連携をはかり、図のような系統的な学習内容を整理している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
南茅部高校		【家】昆布出汁を用いた調理(3年) 【商】昆布を活用した商品の検討・施策・紹介(3年)	【理】地域の水産業について(1年) 商品の検討・施策・紹介(3年)	インターンシップ(2年) 学校祭(介護施設でのステージ) 南茅部の縄文文化	インターンシップ発表会(2年) 遺跡施設見学	【家】昆布の栄養価について(1年) 【国】南茅部町の方言(1・3年) 【教】地域の人口統計(3年) 炊事遠足(地元で実施)	【見学旅行】昆布販売店訪問(2年) 縄文センターガイド体験 【英】英文パンフレットの内容理解(3年) 【家】縄文人の衣服(1年)		
尾札部中学校		縄文についての講話(全) 昆布親善大使活動(3年)	2年 江差宿泊研修(歴史・産業のちがいを事前学習⇒研修・昆布加工センター見学⇒まとめ)	1年 校外学習(縄文を中心とした地域学習) 事前学習⇒函館西部地区テーマ別研修⇒縄文センターでの体験学習⇒まとめ			2年 江差宿泊研修(歴史・産業のちがいを事前学習⇒研修・昆布加工センター見学⇒まとめ)		
臼尻中学校		【技】水産生物の育成(2年) 【社】「文明の起こりと日本列島」(1年)	地域ボランティア清掃 【技】水産生物の育成(2年) 【総合】地域学習「縄文」(1年)	【総合】地域学習「縄文」「海洋資源と流通」→個人テーマ設定と探究・2年	【特活】南茅部高校体験入学(3年) 【総合】職業体験(1年)	【特・道】地域ボランティア学習(全学年) 【家】保育実習こども園訪問(3年)	【総合】個人テーマまとめ(3年)	【総合】地域学習「縄文」(1年)	
磨光小学校		【社】わたしたちの大好きなまち(3年) 南茅部の海(3年) 特産品の昆布(4年) 特産品での商品開発(5年) 南茅部と青森県(6年)	【生】町たんけん(2年)・いきいきサロン(1, 2年) 世代間交流(3年)	前浜学習(全)	【社】働く人とわたしたちの暮らし(3年)	いいまち南茅部(6年)	名人になろう(3年) 南茅部のお年寄り(5年)	まちのひみつと未来(4年)	
臼尻小学校		【社】国つくりへの歩み(6年) 【社】わたしたちの大好きなまち(3年)	【生活科】町たんけん(2年)・いきいきサロン(1, 2年) 漁組のひみつ・自慢の水産物 3・4年 縄文タイムスリップ 5・6年	海浜学習(全)		【生】町たんけん(2年)	名物PR(3, 4年)	【社】しらべよう物をつくる仕事(3年)	
大船小学校		函館・青森わくわく探検隊5・6年 南茅部わくわく探検隊3・4年		【生】どきどきわくわくまちたんけん 2年 【社】国つくりへの歩み 6年(大船遺跡)サケ稚魚放流(全)	缶バック運動(全) 海浜学習(全)	ともに生きる 遺跡発掘体験(全)	もっとなかよしまちたんけん2年 働く人と私たちの暮らし(海で働く)3年		考えよう大船の環境3・4年(缶バック運動・海浜学習)

臼尻中学校の取組①

垣ノ島遺跡外観見学

- 参加 2年生8名
- 連携団体等
 - ・ 函館市縄文文化交流センター
 - ・ 函館市教育委員会生涯学習部文化財課
- 参加生徒の感想
 - ・ いまだに縄文人のDNAが約12%も残っていることに驚いた。盛り土遺構の入口が真北に向かって続いていることには少し興味を持った。
 - ・ 竪穴住居をみて、昔の人たちは自分で家を建てられるほど、賢かったことがわかった。
 - ・ 縄文時代の女性の平均身長が148cmと意外に小さいことがわかった。



縄文時代の竪穴住居の中に座っている様子です。
子どもや動物の寝る場所があったが、大人が寝ていた場所は未だにわかっていないそうです。
また、柱の跡は、大きく盛り土遺構の北側の通路に3カ所（1カ所はまだ発掘されていない）あり、鳥居的な役割をしていたのでしょうか。

臼尻中学校の取組②

垣ノ島遺跡内観見学

- 参加 2年生8名
- 連携団体等
 - ・ 函館市縄文文化交流センター
 - ・ 函館市教育委員会生涯学習部文化財課
- 参加生徒の感想
 - ・ うるしが無色だということがわかった。顔料などで色をつけてやっていることを知れた。
 - ・ 縄文土器は縄の模様というイメージだったが、一番古い土器では貝の模様だということに驚いた。
 - ・ 縄文時代に暮らしていた人々の鍋料理は意外とおいしそうなお物がたくさんあってうらやましいと思った。



垣ノ島遺跡内観の見学。縄文時代に食べられたものや、作られた土器などの話を聞き、資料にまとめています。



国宝「中空土偶」、茅空と名付けられています。

縄文時代に作られた、土器です。特に中期の土器が多く、時代によって工夫され、作られています。



子どもの足形が写し取られた足形土版。亡くなった子どもの形見として大切にされていたものです。



臼尻中学校取組③

縄文文化について (縄文土器洗い体験)

- 参加 2年生8名
- 連携団体等
 - ・ 函館市縄文文化交流センター
 - ・ 函館市教育委員会生涯学習部文化財課
- 参加生徒の感想
 - ・ 縄文時代は昔でも技術や考え方は、今につながることもあって、南茅部に世界遺産があるということにすごくありがたみを感じた。
 - ・ 資料管理による持続可能な社会の実現は、現代の社会では縄文時代をお手本にしてほしいと思った。
 - ・ 土器が意外と丈夫だった。



前回の遺跡見学で新たに見つかった疑問の解説を聞きながら、さらに詳しく縄文時代について学びました。



大船遺跡から出土した土器についている土を落とし、ぬるま湯で洗っている様子です。縄目模様や焼き加減で時代の変化がわかるそうです。

洗い終わった土器です。工夫して、作っていたことが分かりました。



白尻中学校の取組④

大船G遺跡での発掘体験

- 参加 1年生15名、2年生8名
- 連携団体等
 - ・ 函館市縄文文化交流センター
- 参加生徒の感想
 - ・ 遺跡が復元してあり、イメージしやすかった。
 - ・ 4000年も前の人々が作ったものが出て、不思議な感じだった。
 - ・ 地層に白頭山の火山灰があり、噴火の影響がとても大きくて怖いと思った。縄文人はどう感じたのか知りたいと思った。
 - ・ 土器に教科書と同じ縄の模様がついてあり、交流センターの土器と同じだった。



4校合同の取組 実践交流会

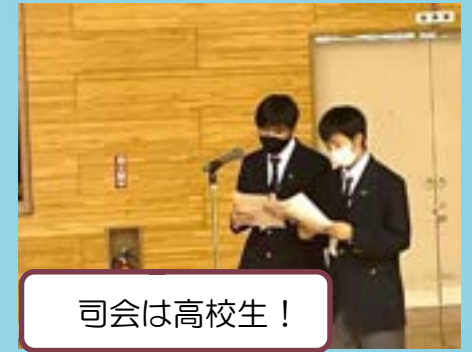
10月20日（木）実施

- 参加 協力校の児童生徒 29名
- 主な内容
 - ・ 各協力校の取組紹介
 - ・ グループ協議
- グループ協議で出された意見
 - ・ 縄文時代風の服を着て街を歩くイベントをすればPRになると考える。
 - ・ 縄文に関する映画や番組を作って縄文の魅力を発信したい。
- 参加児童生徒の感想
 - ・ 先輩たちの意見を聞くのは初めてだったので、良い体験になった。
 - ・ 大人の協力があれば子どもの「したい」を実現できるのではないかとわくわくした。

小・中・高の校種混合の児童生徒グループで協議を実施しました。



各校の取組紹介



司会は高校生！



当日の協議記録【ジャムボード資料から抜粋】
協議題「どうしたらこの（南茅部の縄文の）素晴らしさを一人でも多くの地域の人に知ってもらえるだろう？」

4校合同の取組 視察研修（青森県）

10月21日（金）～22日（土）実施

- 参加 4名（各協力校から1名ずつ）
- 主な訪問先
 - ・ 三内丸山遺跡
 - ・ 青森市立三内中学校
 - ・ 小牧野遺跡、縄文の学び舎・小牧野館
- 参加児童生徒の感想
 - ・ 土器の大きさや形など南茅部の縄文との共通点や相違点に気づいた。
 - ・ 三内丸山遺跡の工夫している良い点を見つけることができた。
 - ・ 南茅部には、外国人にも読めるタッチパネルの設置を提案したい！
 - ・ 小牧野遺跡の竹中館長さんのお話から、おもてなしの意識の高さを感じられた。
 - ・ 研修のおかげで、縄文についての知識やPR力、交流でのコミュニケーション能力も深められたと思う。
 - ・ 青森に来るのは2回目だったけれど、前回とは違う視点ですごく勉強になった。
 - ・ ストーンサークルの配石など、縄文人の努力や集団の結束力に感動した！



三内丸山遺跡

とても緊張しましたが、各校の取り組みについて交流できました。遺跡の応援プランを考える授業や、Tシャツづくりなど、既にたくさんのごことに取り組んでいるそうです。

広大な土地に建物が保存、再現されていました。ガイドさんのお話も、とても分かりやすかったです。



青森市立三内中学校との交流



小牧野遺跡

青森市、陸奥湾が一望できるこの場所に、ストーンサークルを築いたのも理解できました！



縄文の学び舎・小牧野館

館長の竹中さんから、「魅力」「学び」「伝える」「愛される」「誇り」という視点でお話しいただきました。



視察だけでなく、他校との交流もできて、とてもいい経験になりました！

世界遺産子ども サミットへの参加

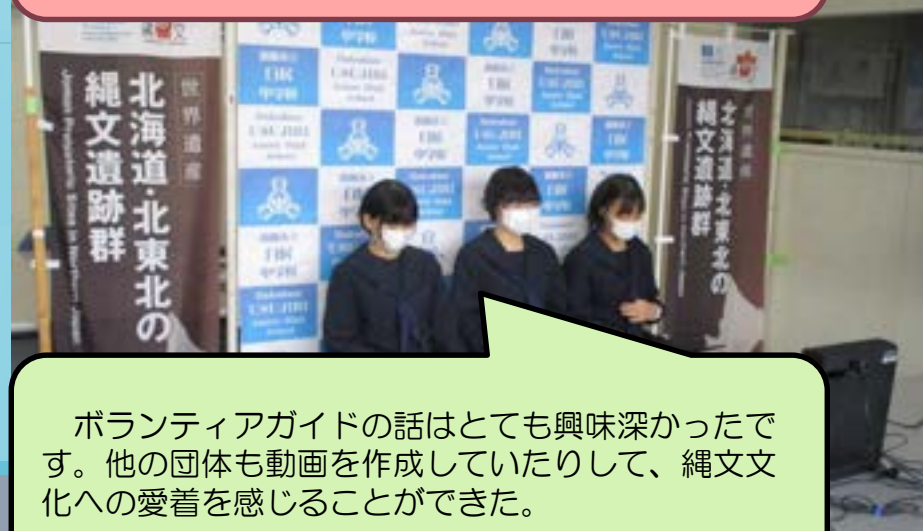
11月26日（土）実施

- 参加 3名
- 主な内容
 - ・ 地域と世界をつなぐ世界遺産学習（講話）
 - ・ 事例発表
 - ・ 共同宣言採択
- 参加生徒の感想
 - ・ 縄文サミットでは、他の地域の取組みについて知ることができ、自分の学校でやっていないことにとても興味がわいた。
 - ・ このサミットを通じて、色々な地域の縄文文化学習の取組みを知れて、とても楽しかった。自分たちの地域の取組みをしっかりと伝えられて、良い機会になりました。

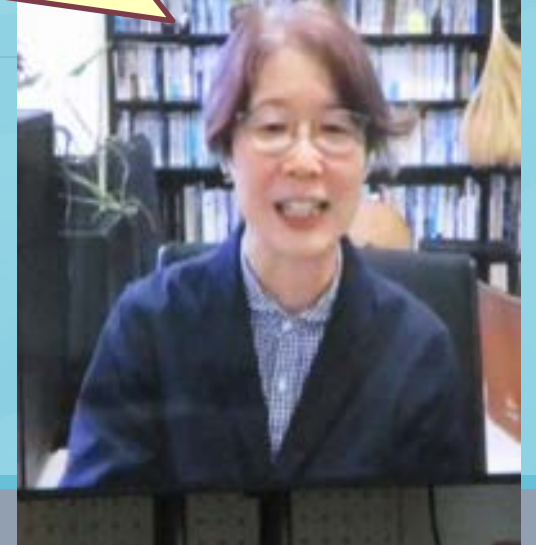


ZOOMで各学校の実践発表を行いました。緊張もせず、ハキハキと発表することができました。各地域で行っていることが違い、たくさんの刺激を受けました。

地域と世界をつなぐ世界遺産学習の講話を聞きました。



ボランティアガイドの話はとても興味深かったです。他の団体も動画を作成していたりして、縄文文化への愛着を感じることができた。



縄文学習の学びを通して

◇渡島フロンティア人材育成事業をきっかけに小・中学校、高等学校の交流を通して、世界文化遺産を守り、発信していくことの大切さに改めて気付くことができた。

◇世界遺産子どもサミットへの参加により、他団体の取り組みから、私たちの地域でも挑戦したいものが多くあった。

◇今後も積極的にイベントなどに参加して、南茅部地区の縄文を詳しく学び、体験し、地域の宝を次世代に受け継いでいきたいと思ひます。

- 遺跡保護や活用の取組をより一層推進していきたい。
- 縄文遺跡を守り抜いていく。
- 貴重な世界遺産を多くの人に知ってもらうために南茅部地区の各学校と協力して発信していく。



自分たちも学びを発信